Canon

Lens Accessory **Zoom Demand ZDJ-GN1** 取扱説明書

ご使用の前に必ず「安全にお使いいただくために」をご覧になり、注意事項にそって正 しくご使用ください。

このたびは、ズームデマンド <ZDJ-GN1> をお買い上げいただき、誠にありがとうござ います。このズームデマンド <ZDJ-GN1> は、箱型レンズのズーム操作をサーボで行う際に使用するアクセサリーです。本デマンドを使用することで、ズームを遠隔操作する ことが可能になります。

本製品の取扱説明書の構成は下記の通りです。

- 取扱説明書「はじめにお読みください」(製品同梱)
- •取扱説明書(Web)



ご使用を始める前に以下のものがすべてそろっていることをご確認ください。 不足品がある場合は、お求めになった代理店または販売店にご連絡ください。

- ・ズームデマンド本体 <ZDJ-GN1>
- デマンドケーブル
- ・取扱説明書「はじめにお読みください」

2 取付け・接続

2-1. ズームデマンドの取付け

ズームデマンドの取付け方法には、以下の2通りがあります。

A.パン棒外径差込みタイプの場合

スリーブを三脚のパン棒へ十分差し込 んだ後、ロックレバーを回してスリー ブをしっかりと固定します。

(パン棒の外径寸法が φ 28.25-28.45mm である場合に使用できま す。)



B.パン棒内径差込みタイプの場合

ズームデマンド先端の軸を三脚のパン棒内径に差し込み、三脚のロックレバーでしっか りと固定します。





2-2. デマンドケーブルの接続

- 1. 以下の手順に従って接続を行います。デマンドケーブルのコネクターオス側をレンズ本体 の後方底面側部にある "TO SERVO CONTROL" のコネクター部へ接続し、コネクター部に ある締付けリングを時計方向に回してデマンドケーブルをしっかりと固定します。
- 2. ケーブルの反対側はズームデマンドのコネクター部に接続します。



3 基本操作・機能

3-1. ズーム操作

ズームデマンドのグリップ側から見て、サムリングを時計方向に回すと望遠(テレ)側に、 反時計方向に回すと広角(ワイド)側にズームします。

また、サムリングの回転角度に比例してズームスピードが変化します。回転角度が大きいほど、

ズームスピードが速くなります。

ズーム操作中のおおよその焦点距離は、レンズ本体側面部(カメラ側から見て左側)にある インジケーターで確認することができます。

*ディスプレイでズームサムリングの極性設定を変更できます。詳細は、「5-7-4. Ctrl 画面」の「ズームサ ムリングの極性を設定する〕をご覧ください。

3-2. 最高ズームスピード調整

最高ズームスピード調整ノブで、サムリングを回し切ったときに得られるズーム最高速度を 変えることができます。調整ノブを時計方向に回すと速くなり、反時計方向に回すと遅くな ります。

3-3.トルク調整

トルク調整つまみで、サムリングを回すときの所要トルクを変えることができます。トルク 調整つまみを時計方向へ回すとトルクが重くなり、反時計方向に回すと軽くなります。

3-4. ズーム出力曲線選択

ズーム出力曲線選択スイッチで、サムリングの回転角度に 対するズームスピードのカーブ特性(ズーム出力曲線)を 3種類のカーブから選択することができます。ズーム出力 曲線選択スイッチの CURVE を切り替えることによって、 ズーム出力曲線を選択することができます。

* 選択できる3種類のカーブの組み合わせはディスプレイで変更 できます。「5-7-4. Ctrl 画面」[ズームカーブモードを設定する] をご覧ください。

3-5. トークバック(マイク)操作

使用カメラにトークバック機能がある場合、ズームデマンドの上面にあるトークバックス イッチが使用可能になります。

このスイッチを ENG 側に押すとロックされ、カメラマンはエンジニアリングスタッフと交 信できます。一方、PD 側は押している間だけ、プロデューサーと交信ができます。

3-6. リターン操作

ズームデマンドのグリップ部下側に2個のRETスイッチ(RET1、RET2)があります。 スイッチを押している間、他のカメラへ送られてきた映像をビューファインダー上で確認で きます。

3-7. エクステンダー切替え

エクステンダー切替えスイッチでエクステンダーの切替えができます。エクステンダー切替 えスイッチを 2x 側に倒すとエクステンダーが 2x に切り替わります。反対に 1x 側に倒すと、 エクステンダーは 1x に切り替わります。

3-8. MEMO スイッチ

AUX1、AUX2、AUX3、RET1、RET2 スイッチにフレーミングプリセット機能、スピードプ リセット機能、シャトルショット機能を割り付けた際の設定に使用します。

3-9. ズームトラック機能(トラッキング)

ズームコントロール域(ズームトラック)を任意のズーム範囲で制限し、望遠端(テレ端) および広角端(ワイド端)を仮想的に設定できます。

A. ズームトラック位置の設定方法

- 1. サムリングを操作して任意のズームトラック位置(望遠端または広角端)にズーミング します。
- 2. トラッキングスイッチを MEMO 側に倒します。
- 3. 望遠側、広角側それぞれに1および2項の操作を行い設定します。どちらか一方の設定 も可能です。再設定する場合は、1 および 2 項の操作を行います。(あとから設定された) 位置に書き替えられます。)
- *ズームトラック位置は、望遠側、広角側それぞれに設定できます。望遠側または広角側に2か所の設 定はできません。
- *設定したズームトラック位置は、電源 OFF 後も記憶されます。
- * すでにズームトラック位置が設定されているときに、その位置より望遠端または、広角端にズームト ラック位置を変える場合は、ズームトラック機能を OFF にしてください。

B. ズームトラック機能の ON/OFF 切替え

- ズームトラック機能の ON / OFF 切替えは次のように行います。
 - ON : トラッキングスイッチを ON 側にします。ズームコントロール域が設定した範 囲に制限されます。
 - OFF : トラッキングスイッチを OFF 側にします。通常のズームコントロール域にな ります。
- *ズームトラック機能 ON 時点で現在のズーム位置がこの制限外にある場合は、制限範囲の端点まで自 動的に移動します。

4 応用操作・機能

以下の操作は、ディスプレイ上で AUX1、AUX2、AUX3、RET1、RET2 スイッチに機能を割 り付けることで使用できる機能です。割り付け方に関しましては「5. ディスプレイ操作」をご 覧ください。

4-1. フレーミングプリセット機能

フレーミングプリセットとは、あらかじめ決めた画角と移動スピード(ズームスピード)を 何度も再現できる機能です。

フレーミングメモリーポジションへの移動スピードの選択はFr1P/Fr2P、Fr1F/Fr2Fのスイッ チ割付けで行います。

- Fr1P/Fr2P :ズームが設定スピードで移動(Preset Speed)
- Fr1F/Fr2F :ズームが最高スピードで移動(Fast Speed)

*工場出荷時には AUX1 スイッチに Fr1F 機能が割り付けられています。

[フレーミングメモリーポジションを設定する]

任意のポジションにズーミングし、そのポジションのままMEMOスイッチを押しながらFr1P スイッチを押します。(Fr2P、Fr1F、Fr2Fも設定方法は同じです。)

- *フレーミングメモリーポジションは、Fr1P と Fr1F で 1 か所、Fr2P と Fr2F で 1 か所それぞれメモリー できます。このとき後から設定したポジションが優先されます。
- *設定したフレーミングメモリーポジションは後述のシャトルショットで設定するポジションとは別の ものです。また、このときに設定したポジションは電源 OFF 後も記憶されます。

[フレーミングメモリーポジションへ移動する]

Fr1Pスイッチを押すとフレーミングメモリーポジションへ設定したスピードで移動し始め、

4-2.スピードプリセット機能

スピードプリセットとは、あらかじめ登録しておいたズームスピードを何度も再現できる機 能です。

[ズームスピードおよびズーム方向を設定する]

任意のズームスピードとズーム方向(望遠側または広角側)にサムリングを操作したまま MEMO スイッチを押します。

*記憶されたズームスピードは、フレーミングプリセットに反映されます。

[ズームスピードメモリーポジションへ移動する]

Spedスイッチを押すと、設定したスピードと方向(望遠側または広角側)に向かって移動し始 め、ズーム端へ到達すると停止します。

[ズームスピードメモリーポジションへの移動を解除する]

スピードプリセットでの移動中、下記のいずれかの操作により移動が解除されます。

- Spedスイッチをもう一度押す。
- ・ Stl1/Stl2/Fr1P/Fr2P/Fr1F/Fr2Fスイッチを押す。
- サムリングを操作する。

4-3. シャトルショット機能

シャトルショットとは、現在のズームポジションとあらかじめ登録しておいたズームポジ ションを最高速で切り替える機能です。

- *工場出荷時には AUX2 スイッチに Stl1 機能が割り付けられています。
- *シャトルショットは、Stl1、Stl2の2か所までメモリーできます。以下の説明では Stl1のみ記載しま すが、Stl2 も同じ方法で設定します。



フレーミングメモリーポジションへ到達すると停止します。

[フレーミングメモリーポジションへの移動を解除する]

フレーミングメモリーポジションへの移動中、下記のいずれかの操作により移動が解除され ます。

• Stl1/Stl2/Spedスイッチのいずれかのスイッチを押す。

・実行中でないいずれかのフレーミングプリセットスイッチ(Fr1P/Fr2P/Fr1F/Fr2F)を押

す。

サムリングを操作する。

[シャトルメモリーポジションを設定する]

任意のポジションにズーミングし、そのポジションのままMEMOスイッチを押しながらStl1 スイッチを押します。

*設定したシャトルメモリーポジションは、前述のフレーミングプリセットで設定するポジションとは 別のものです。また、このとき設定したポジションは電源 OFF 後も記憶されます。

[シャトルメモリーポジションへ移動する]

StI1スイッチを押し続けるとシャトルショット位置へ最高速でズームして停止します。StI1ス イッチを押している間は、このシャトルショット位置を維持しています。

Stl1スイッチを離すと移動前の位置に戻ります。

*ズームトラック機能が働いている場合でもシャトルショットでは、ズーム範囲が制限されません。 * F ドロップ優先ズーム範囲制御機能が働いている場合、制限されたズーム範囲外にシャトルショット 位置があるときは、その位置までズームしません。

4-4. IS 操作

IS(イメージスタビライザー)搭載のレンズに接続したときに、AUX3 スイッチで IS の ON/ OFF 操作を行うことができます。

レンズの IS 機能 ON :IS 表示 LED が点灯(緑色点灯)

:IS 表示 LED が消灯 レンズの IS 機能 OFF

* IS 機能を実行する際は、AUX3 スイッチを押します。詳細は、レンズの取扱説明書をご覧ください。 * AUX3 スイッチに他の機能を割付けた場合でも、IS 表示 LED はレンズの IS 機能の ON/OFF 状態を示 します。

4-5. ワイパーコントロール機能

ワイパー搭載レンズに接続したときに、ワイパーを操作することができます。ワイパーの動き はレンズ側の設定により異なります。

4-6. F ドロップ優先ズーム範囲制御機能 (F-Hold 機能)

リモート(マニュアル)アイリスを使用する場合に、CCUからの指令F値より画面が暗くならな いように望遠側のズーム範囲を制限する機能です。

- 1. カメラ側のリモート (マニュアル)アイリス機能を使用し、CCUから指令F No.値を設定し ます(カメラ側の取扱説明書をご覧ください)。
- 2. この指令F No.値よりもF No.が大きくなる (暗くなる)位置でズーミングが制限されま す。ズームデマンド側での設定はありません。
- * F ドロップ優先ズーム範囲制御機能 ON のときは、シャトルショットは制限範囲の影響を受けます。
- *電源 ON 時は、機能 OFF の状態です。
- * F ドロップ優先ズーム範囲制御機能 ON で現在のズーム位置がこの制限範囲外にある場合は、制限範 囲の端点まで自動的に移動します。
- * F ドロップ優先ズーム範囲制御機能 ON 時にエクステンダーを切り替えた場合は、この機能が解除さ れます。必要な場合は再度機能の ON を行ってください。

4-7. 操作棒⇔サーボデマンド切替え機能

押引きサーボ機能搭載レンズに接続したとき、操作棒とサーボデマンド(本ズームデマンド) の操作切替えを行います。

スイッチを押すごとに、操作棒⇔サーボデマンドと切り替わります。

4-8. AF ACTIVE/HOLD スイッチ機能

AF機能搭載レンズに接続したとき、フォーカスデマンドの AF MODE の選択状態により、スイッ チの機能は以下のようになります。

* AF 機能対応のフォーカスデマンドを接続したときのみ有効です。

フォーカスデマンドの AF MODE スイッチの状態	AF ACTIVE/HOLD スイッチの機能
PART TIME	押している間は AF 制御になります。
FULL TIME	押している間は押される前のフォーカス位置を保持します。
OFF	スイッチを押しても動作しません。

4-9. トークバック(マイク)機能(エンジニア)

スイッチを押している間、エンジニアリングスタッフと交信ができます。

4-10. トークバック(マイク)機能(プロデューサー)

スイッチを押している間、プロデューサーと交信ができます。

5 ディスプレイ操作

カスタマイズ機能

各種機能の設定を本体側面のディスプレイ上でメニューを選択して変更します。

5-1.ディスプレイ部



5-2. 操作キーの名称と操作方法

ます。

名称	操作	詳細
Set +	押す Set	画面表示に『 🢭 』が出た場合や、選択を確定する際に押します。
右キー	右方向に押す	画面表示に『▶』が出た際にキー操作が有効になります。
左キー	左方向に押す	画面表示に『◀』が出た際にキー操作が有効になります。
上キー	上方向に押す	画面表示に『▲』が出た際にキー操作が有効になります。
下キー	下方向に押す	画面表示に『 ▼ 』が出た際にキー操作が有効になります。
L	1	1

5-3. TOP画面

Top画面には、8種類の設定項目が用意されています。

Top 初期画面

	▶[†] 1 <u>2</u>
3 – A1 Fr1F	R1 RET1 - 4
5 A2 Stl1	R2 RET2 -6
7 (A3 IS	[State]8

Top 画面構成

- ① MENU 画面へ
- ② ユーザー切替え
- ③ AUX1 スイッチへの機能割付け
- ④ RET1 スイッチへの機能割付け
- ⑤ AUX2 スイッチへの機能割付け
- ⑥ RET2 スイッチへの機能割付け
- ⑦ AUX3 スイッチへの機能割付け
- ⑧ State 画面へ

5-4. MENU画面

設定項目を機能ごとに分類しました。これらを総称してMENU画面といいます。 これらの画面を表示するには、Top画面にある [MENU]を選択しSetキーを押します。初めにUser 画面が表示され、右キーまたは左キーを押すことで画面が切り替わり、ほかの画面が表示されま す。

5-5.基本的な操作の流れ

①カメラの電源を入れます。 ②ディスプレイスイッチを押して、ディスプレイを点灯させます。 ③操作キーを使用して、各種設定をします。設定が保存されます。 ④ディスプレイスイッチを押して、ディスプレイを消灯させます。

[ディスプレイ設定一覧]

					ř.	
メニュー 画面		ディスプレイ表	示	機能	デフォルト	選択 / 表示項目
User	No.			ユーザーを切替える	1	0/1/2/3/4/5/6/7/8/9
画面	Name			ユーザーに名前を付ける	-	-/ /A/B/C~Z/a/b/ c~z/0/1/2~9
	ResetAll			リセットする		
	Сору			設定を他のユーザーにコピーする		
	Access			ロックモードを設定する	Unlock	Unlock/Lock
Switch	AUX1			AUX1 スイッチに機能を割り付ける	Fr1F	RET1/RET2/RET3/
画面	AUX2			AUX2 スイッチに機能を割り付ける	Stl1	Fr1P/Fr1F/Fr2P/ Fr2F/Sped/StI1/StI2/ IS/Wipe/FHId/PP/AF/
	AUX3			AUX3 スイッチに機能を割り付ける	IS	
	RET1			RET1 スイッチに機能を割り付ける	RET1	ENG/PD/NON
	RET2			RET2 スイッチに機能を割り付ける	RET2	
Preset 画面	Zspeed			プリセットモード (Fr1P/Fr2P/Sped) 時のズームスピードを設定する	800	1~800
Ctrl	Curve			ズームカーブモードを設定する	0	0~10
画面	Reverse			ズームサムリングの極性を設定する	W⇔T	$W \Leftrightarrow T/T \Leftrightarrow W$
Info			IS Freq	IS 周波数を設定する		L/M/H/*
画面	Lens	Setting	Z Hi-Sped	ズームの高速設定の ON/OFF を切り 替える		ON/OFF/*
				デマンド本体とレンズの通信状能を		Connected/

User	画面
------	----

Ctrl 画面

tuser	▶ 8¥ <u>71 8</u>
No.:	1
Name:	
ResetAll	

Switch 画面 \$∢Switch → †1 💾 🛨 A1 AUX1: Fr1F (A2) AUX2: Stl1 A3 AUX3: IS

Ctrl 画面			Info 画面
‡∢Ctrl → :	£ (i) o	ĺ	‡ ∢Info
Curve:	0		Lens
Reverse:	W 🏊 T		Soft

三日回回	
‡ ∢Info) 🗘 💽 🔐
Lens	
Soft	

	State 画面
1	\$∢State
	IS:
	F-Hold:
	Tracking:

Preset 画面

Zspeed:

♦Preset >

800

▶ 🖸 🔛 †1

OFF

OFF

OFF

			Connection		確認する	Non-Connected
		Soft			ソフト情報を確認する	ソフトバージョンの 表示
	State	IS			IS 機能の ON/OFF を確認する	ON/OFF
	画面	F-Hold			F-Hold 機能の ON/OFF を確認する	ON/OFF
		Tracking			ズームトラック機能の ON/OFF を確 認する	ON/OFF
		PushPull			操作棒による操作機能の ON/OFF を 確認する	ON/OFF

* 対応レンズ以外に接続した場合、--- と表示します。

[エスケープ操作]

ユーザー0 設定に切り替わります。この操作は、現在どのユーザー(User 0 ~ 9)設定であって も、瞬時にUser 0 設定状態(工場出荷設定状態)にジャンプすることができます。

* Lock 中にこの操作はできません。

* 再電源投入時はエスケープ操作前のユーザーに戻ります。ただし、この操作後にユーザーを変更した場合は、 変更後のユーザーになります。

[(DISPLAY) and (Set)] 2秒

*Setキー以外でもディプスレイ部の上、下、左、右キーでも同様のエスケープ操作ができます。 [自動消灯機能]

Display が点灯状態のとき、スイッチ入力をしない状態が2分間継続すると Display は自動消 灯します。ただし、State 画面ではスイッチ入力がなくても自動消灯しません。

5-6. TOP画面で設定可能な機能

[ユーザーを切り替える]

設定可能なユーザーは User 0~9です。

User 1 \sim 9	使用するユーザーごとに詳細な設定が行えます。設定内容を保存できます。(* デフォルト値:1)				
User 0	- 一時的に設定変更し、使用できるユーザーです。設定内容を保存できません。				
	User 1~9へ切替えを行ったり、電源 OFF を行った場合、設定内容は解除されます。エスケープ操作				
	を行ったときは User 0 になります。User 0 を選択すると、工場出荷時の設定になります。				

 $\blacksquare MENU \rightarrow () \rightarrow [in] 1 \rightarrow Set \rightarrow () = that () \rightarrow Set$

[AUX1/AUX2/AUX3/RET1/RET2 スイッチに機能を割り付ける]

各スイッチに以下の機能割付けが可能です。(同じスイッチに複数の機能の同時割付けはでき ません。)

*操作を行う前に、あらかじめ設定を行うユーザーに切り替えてください。

ディスプレイ 表示	機能	機能概要
RET1	リターン 1 (RET1 スイッチのデフォルト設定)	スイッチを押している間、他のカメラへ送られてきた映像を
RET2	リターン 2 (RET2 スイッチのデフォルト設定)	ビューファインダー上で確認できます。
RET3	リターン3	
Fr1P	フレーミングプリセット 1 (設定速度)	
Fr1F	フレーミングプリセット 1(最高速) (AUX1 スイッチのデフォルト設定)	スイッチを押すと、記憶したズーム位置まで移動します。 Fr1PとFr1Fで1か所、Fr2PとFr2Fで1か所の記憶および再生が
Fr2P	フレーミングプリセット2(設定速度)	可能です。
Fr2F	フレーミングプリセット2(最高速)	
Sped	スピードプリセット	スイッチを押すと、記憶したズームスピードおよび方向(望遠側 または広角側)へ移動します。
Stl1	シャトルショット1 (AUX2 スイッチのデフォルト設定)	- 記憶したズームポジションに最高速度で移動し、スイッチを離 オトテのブームポジションの高速で戻ります
Stl2	シャトルショット 2	9 と元のスームホノノヨノへ高述で戻りより。
IS	IS の ON/OFF (AUX3 スイッチのデフォルト設定)	IS (イメージスタビライザー)機能搭載のレンズに接続したとき、ISのON/OFF操作を行うことができます。
Wipe	ワイパーの ON/OFF	ワイパー付きレンズに接続したとき、ワイパーを操作すること ができます。
FHId	F ドロップ優先ズーム範囲制御 (F-Hold 機能)	リモート(マニュアル)アイリスを使用する場合に、CCUからの 指令F値より画面が暗くならないように望遠側のズーム範囲を 制限します。
PP	操作棒⇔サーボデマンド切替え	押引きサーボ機能搭載レンズに接続したとき、操作棒とサーボ デマンド(本ズームデマンド)の操作切替えを行います。
AF	AF ACTIVE/HOLD スイッチ	AF 機能搭載レンズに接続したときに、フォーカスデマンドの AF MODE スイッチとの組み合わせによって AF を制御します。
ENG	トークバック (エンジニアとの交信)	エンジニアリングスタッフと交信ができます。
PD	トークバック (プロデューサーとの交信)	プロデューサーと交信ができます。
NON	機能なし	機能はありません。

AUX1 スイッチへの割付け

AUX2 スイッチへの割付け

$$== MENU \rightarrow \bigcirc \times 2 \rightarrow A2 Stil \rightarrow Set \rightarrow \bigcirc table defined and each defined and e$$

AUX3 スイッチへの割付け

$$\blacksquare MENU \rightarrow \textcircled{\times} 3 \rightarrow \textcircled{A3 IS} \rightarrow \textcircled{Set} \rightarrow \textcircled{} 15 \textcircled{} 5t \rule{} 5t \rule{}$$

RET1 スイッチへの割付け

RET2 スイッチへの割付け

$$\blacksquare MENU \rightarrow \textcircled{\times} 2 \rightarrow \textcircled{} \rightarrow \textcircled{R2} RET2 \rightarrow \textcircled{} \rightarrow \textcircled{} trit \textcircled{} \rightarrow \textcircled{} \rightarrow \textcircled{}$$

[State 画面へ移動する]

Set キーを押すと、MENU 画面の State 画面に遷移します。

 $\blacksquare MENU \rightarrow \bigcirc \times 3 \rightarrow \bigcirc \rightarrow [State] \rightarrow Set$

5-7. MENU画面で設定可能な機能

5-7-1. User画面

[ユーザーを切り替える]

設定可能なユーザーは User 0~9です。

User 1 ~ 9 | 使用するユーザーごとに詳細な設定が行えます。設定内容を保存できます。(デフォルト値:1) 一時的に設定変更し、使用できるユーザーです。設定内容は保存できません。 User 0 User 1~9へ切替えを行ったり、電源 OFF を行った場合、設定内容は解除されます。エスケープ操 作を行ったときは User 0 になります。User 0 を選択すると、工場出荷時の設定になります。

[ユーザーに名前を付ける]

ユーザーごとに名前を付けることができます。 *入力可能な文字数は8文字で、入力可能な文字はA~Z、a~z、0~9、空欄です。 *操作を行う前に、あらかじめ設定を行うユーザーに切り替えてください。

* " To No." でコピー先のユーザー No. を指定し、"Copy" の「y」にカーソルを移動して SET キーを押すと データのコピーが始まります。(指定可能なユーザー No. は 0 ~ 9 です。) *操作を行う前に、あらかじめ設定を行うユーザーに切り替えてください。



機能概要

スイッチを押している間、他のカメラへ送られてきた映像を

ビューファインダー上で確認できます。

機能

(RET2 スイッチのデフォルト設定)

リターン 2

リターン3

RET2

RET3

$$\blacksquare MENU \rightarrow Set \rightarrow (User \rightarrow 31 \text{ is } 24 \rightarrow \bigcirc \times 4 \rightarrow Set \rightarrow \bigcirc \rightarrow \bigcirc \text{ stat} \bigcirc \rightarrow \bigcirc \rightarrow \bigcirc$$

→ () → (Set)

1

[ロックモードを設定する]

設定した機能が変更されないようにするため、特定の機能にロックモードを設定できます。ロッ クモード設定はユーザーに関係なく、一度設定すると全ユーザーに適用されます。

* SET キーを押し、パスワードを入力すると "Lock OK?" のメッセージが表示されるので、カーソルを「y」 に移動して SET キーを押します。Lock 状態では、プリセットデータ(シャトルショット位置、フレー ミングプリセット位置、プリセット速度)およびズームトラックの位置と ON/OFF 設定以外の設定変更 はできません。

* User No. の表示部分に 0 から 9 の数字がある場合は、Unlock 状態を示します。User No. の表示部分に Lock の文字がある場合は、Lock 状態を示します。

*本製品には、パスワードを特別に設けておりません。Lock 操作を行う際に設定したパスワードが、 Unlock 時のパスワードとなります。したがって、パスワードは毎回メモを取っておくなどしてください。 パスワードを忘れた場合は、キヤノン(株)または販売代理店にお問い合わせください。パスワードは未 入力から最大8桁まで入力できます。

*デフォルトは Unlock です。

フレーミングプリセット 1 (設定速度)	
フレーミングプリセット 1(最高速) (AUX1 スイッチのデフォルト設定)	スイッチを押すと、記憶したズーム位置まで移動します。 Fr1PとFr1Fで1か所、Fr2PとFr2Fで1か所の記憶および再生が
フレーミングプリセット2(設定速度)	可能です。
フレーミングプリセット2(最高速)	
スピードプリセット	スイッチを押すと、記憶したズームスピードおよび方向(望遠側 または広角側)へ移動します。
シャトルショット1 (AUX2 スイッチのデフォルト設定)	 記憶したズームポジションに最高速度で移動し、スイッチを離
シャトルショット 2	
IS の ON/OFF (AUX3 スイッチのデフォルト設定)	IS (イメージスタビライザー)機能搭載のレンズに接続したとき、ISのON/OFF操作を行うことができます。
ワイパーの ON/OFF	ワイパー付きレンズに接続したとき、ワイパーを操作すること ができます。
F ドロップ優先ズーム範囲制御 (F-Hold 機能)	リモート(マニュアル)アイリスを使用する場合に、CCUからの 指令F値より画面が暗くならないように望遠側のズーム範囲を 制限します。
操作棒⇔サーボデマンド切替え	押引きサーボ機能搭載レンズに接続したとき、操作棒とサーボ デマンド(本ズームデマンド)の操作切替えを行います。
AF ACTIVE/HOLD スイッチ	AF 機能搭載レンズに接続したときに、フォーカスデマンドの AF MODE スイッチとの組み合わせによって AF を制御します。
トークバック(エンジニアとの交信)	エンジニアリングスタッフと交信ができます。
トークバック (プロデューサーとの交信)	プロデューサーと交信ができます。
機能なし	機能はありません
	フレーミングブリセット1(設定速度) フレーミングブリセット1(最高速) (AUX1スイッチのデフォルト設定) フレーミングプリセット2(設定速度) フレーミングプリセット2(設定速度) スピードプリセット シャトルショット1 (AUX2スイッチのデフォルト設定) シャトルショット2 ISのON/OFF (AUX3スイッチのデフォルト設定) ワイパーのON/OFF Fドロップ優先ズーム範囲制御 (F-Hold 機能) 操作棒⇔サーボデマンド切替え AF ACTIVE/HOLDスイッチ トークパック(エンジニアとの交信) 機能なし



ズーム速度(ON:高速ズーム / OFF:標準ズーム)を切替えます

選択項目 *	ON	OFF
機能	高速ズーム	標準ズーム

* 対応レンズ以外に接続した場合、 -- と表示します。

$$\blacksquare \blacksquare MENU \rightarrow Set \rightarrow \textcircled{} \times 2 \rightarrow \textcircled{} \times 1nfo \rightarrow \textcircled{} \textcircled{} \textcircled{} \textcircled{} \Rightarrow \textcircled{} \Rightarrow$$

[ズームデマンド本体とレンズの通信状態を確認する]

ズームデマンドとレンズの通信状態を表示します。

表示項目	Connect	Non-Connect
状態	通信接続されています	通信接続されていません

$$\blacksquare MENU \rightarrow \texttt{Set} \rightarrow \textcircled{3} \times 2 \rightarrow \textcircled{4} \texttt{Info} \rightarrow \textcircled{3} \textcircled{3} \textcircled{3} \rightarrow \textcircled{7} \rightarrow \texttt{Set} \rightarrow \textcircled{7} \times 2 \rightarrow \texttt{Set}$$

[ソフト情報を確認する]

ソフト情報を表示します。

$$\blacksquare \blacksquare MENU \longrightarrow (Set) \longrightarrow (I) \times 2 \longrightarrow (Info) \longrightarrow (I) (II) (III) \times 2 \longrightarrow (Set)$$

[操作棒による操作機能 ON/OFF を確認する]

接続されているレンズ押引き機能の ON/OFF を表示します。

表示項目	ON	OFF
状態	操作棒による操作機能 ON	操作棒による操作機能 OFF

$$\blacksquare MENU \longrightarrow Set \longrightarrow \textcircled{3} \implies \textcircled{4} \cdot State \longrightarrow \textcircled{6} \textcircled{3} \ddagger 1 \implies \textcircled{7} \times 4$$

BT1-D043-A-JPN

安全にお使いいただくために

製品および取扱説明書に記載されている安全に関する警告や注意事項は、必ず守ってください。 これら危険防止の警告や注意事項にそった取扱いをしない場合、けがや事故に至る可能性があります。こ の取扱説明書をよく読んで、十分に理解した上で本製品を正しくご使用ください。 また、この取扱説明書は必要に応じてご覧になれるよう大切に保管してください。

この取扱説明書の中では、お客様および他の人々の安全をお守りし、事故を未然に防止するための警告文 や注意文に以下のシンボルマークと言葉を使用しています。

<u> </u>	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れがある警告事項が書かれて います。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
1 注意	取扱いを誤った場合に、負傷または物的損害を負う恐れがある注意事項が書か れています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りくだ さい。
『ご注意ください』	操作する上での注意事項または、推奨事項です。 ここに記載されていることを守らないと、製品が正しく機能しない可能性があ ります。また、操作上における有益な情報も記載されています。

取扱いについて

<u> 警告</u>

- 水をかけたり、濡らしたりしないでください。万一、内部に水が入った場合は使用を中止してください。 そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。
 ケーブルを抜くときは、必ずコネクター部を持って抜いてください。ケーブル部を引っ張ると、断線
- 2. ケーブルを抜くときは、必ずコネクター部を持って抜いてください。 ケーブル部を引っ張ると、断線 などケーブルが傷つき、その部分から漏電して火災や感電の原因となることがあります。

∕!∖注意

- 1. 本製品を持ち運ぶときは、落下させないようご注意ください。落下させますと、けがの原因となることがあります。
- 2. 取付け部は、しっかりと締め付けてください。取付け部が緩むと、落下してけがの原因となることがあります。
- 3. 定期的(目安として6か月~1年ごと)に取付け部に緩みが無いか点検してください。 取付け部が緩 むと、落下してけがの原因となることがあります。

『ご注意ください』

- 1. 本製品に強い衝撃を与えると故障の原因となることがあります。
- 2. 本製品は防滴構造にはなっておりません。雨・雪など、水滴に直接さらして使用しないでください。 故障の原因となることがあります。
- 3. 粉塵の多い場所でのご使用には十分ご注意ください。 製品内に粉塵が入ると、故障の原因となることがあります。
 4. 化学薬品を使用するなど特殊な環境のもとでレンズを使用される場合には、あらかじめご相談くださ
- 4. 化子楽品を使用するなど特殊な環境のもとでレンスを使用される場合には、めらかしめと相談くたさい。特殊な環境下で使用すると故障の原因となることがあります。

異常時の対処方法について

▲ 警告

- 万一下記のような異常が発生した場合には、ただちにケーブルを製品から抜いて、お求めになった代 理店または販売店までご連絡ください。
 - ・発煙、異臭、異常音などが発生した場合
 - ・異物(金属や液体など)が製品内部に入ってしまった場合

▲ 警告

保守・点検について

本製品の外装を清掃するときは、必ずケーブルを抜き、レンズやカメラから取り外してから行ってください。 また、ベンジン・シンナーなど引火しやすいものは、使用しないでください。 火災や感電の原因となることがあります。

『ご注意ください』

使用条件・頻度・環境などにより異なりますが、毎年一回程度は保守点検を実施し、必要な場合にはオーバーホールなどを行ってください。



『ご注意ください』

霧や小雨などで湿気を含んだ場合には、速やかに乾いた布で水分をふき取り、乾燥剤(できるだけ新し い乾燥剤を使用)とともに、ビニール袋に入れて密封し、完全に内部の湿気を除去してください。 カ ビや故障の原因となることがあります。



- 1. お客様の誤った操作に起因する障害については、当社は、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の品質・機能および取扱説明書に関して、お客様の使用目的に対する適合性・市場性などについては、一切の保証をいたしかねます。また、そこから生じる直接的・間接的損害に対しても責任を 負いかねます。
- 3. 本製品の仕様・商品構成・外観図などは、お断りなく変更することがあります。
- 4. 修理や保守点検、本取扱説明書に記載されていない諸調整などにつきましては、お求めになった代理 店または販売店までお問い合わせください。
- 5. お客様のご都合で、当社に相談なく改造が行われた製品に対しては、その修理などをお引き受けできない場合がありますのでご注意ください。

キヤノン株式会社 〒146-8501 東京都大田区下丸子3-30-2 この取扱説明書の著作権はキヤノン株式会社に あります。

この取扱説明書の一部または全部をキヤノン株式会社の承諾書なしに、複写・複製または転記することは禁止されています。

[memo]